

## 製品名: クローディン7 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab08914

研究使用のみ

### 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

### 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	32kDa

### 抗原情報

遺伝子名	CLDN7
別名	CLDN7; CEPTRL2; CPETRL2; Claudin-7; CLDN-7
遺伝子 ID	1366.0
SwissProt ID	O95471
免疫原	抗血清はヒトクローディン7由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 162-211

### 背景

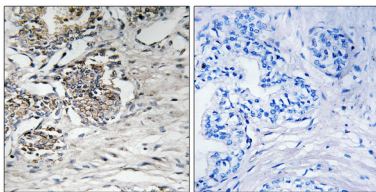
この遺伝子はクローディンファミリーのメンバーをコードします。クローディンは膜貫通タンパク質であり、タイトジャンクション鎖の構成要素です。タイトジャンクション鎖は、上皮細胞シートまたは内皮細胞シート間の細胞間隙を溶質や水が自由に通過するの

を防ぐ物理的な障壁として機能し、細胞極性の維持とシグナル伝達においても重要な役割を果たします。この遺伝子の差次的発現は、乳がん、卵巣がん、肝細胞がん、尿路腫瘍、前立腺がん、肺がん、頭頸部がん、甲状腺がんなど、さまざまな種類の悪性腫瘍で観察されています。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションがみつかっています。[RefSeq 提供、2010年5月],機能:細胞間隙のタイトジャンクション特異的閉塞に主要な役割を果たす。誘導:アンドロゲンによる。類似性:クローディングファミリーに属する。サブユニット:TJP1/ZO-1、TJP2/ZO-2、およびTJP3/ZO-3と直接相互作用する。組織特異性:腎臓、肺、および前立腺で発現する。アイソフォーム1が優勢であると思われるが、一部の正常前立腺サンプルではアイソフォーム2が主要な形態である。乳がん(乳管内癌(DCIS)、小葉癌(LCIS)、浸潤性乳管癌(IDC)を含む)およびいくつかの癌細胞株において、タンパク質レベルで発現が低下している。発現の消失は組織学的悪性度と相関し、主に高悪性度病変で発現する。

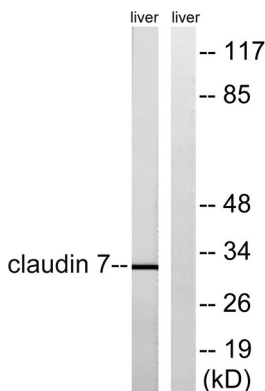
## 研究分野

細胞接着分子(CAM)、タイトジャンクション、白血球の内皮透過移動、

## 画像データ



Claudin 7抗体を用いたパラフィン包埋ヒト前立腺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



ラット肝細胞ライセートのクローディング7抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。